

雌伏から雄飛へ！

勇往邁進突き進もう！

(公財) 神奈川県スキー連盟
会長 片 忠夫



皆さんこんにちは！

コロナ感染・蔓延で世界中にワクチン騒動が起きる事態となり日本も同様現象が出て、その結果、世の中が一変してしまいました。

加えて地球温暖化と気候変動がそれに拍車をかけ、騒然とした世の中になり、スノースポーツ環境に霧がかかり、見通しが極めて困難な時代へと突入してしまいました。

コロナ渦が社会にもたらした“功”“罪”を整理して進むべき路を探らないと路頭に迷う結果となってしまいます。

かかる状況下、SAKの英知を結集して神奈川県の進むべき「新路」を切り開き、どう突き進むかその羅針盤を皆様とともに考えたいと思います。

1.事業運営は基本的に従前に戻します。

コロナがもたらした唯一の良いところは Zoom 会議普及です。忙しい理事諸兄の会議に費やす時間が大幅に伸び、効率が上がり、一堂に集まる時間の有効活用が出来ました。スキー場との打ち合わせも、委員会会議等も Zoom 会議大成功です。

教育本部では理論指導者研修会は e-ラーニングを常態化します。養成講習会、受験のためにも Zoom で行い、受験生の費用軽減を図りながら進めます。研修会とは別に有資格者レベルアップ要素を入れた事業を取り入れます。

競技本部事業も再見直しを全面的に行い、地元協力体制、参加選手の父兄協力、他団体との連携を更にさらに強め、運営資金の効率化を徹底します。

2.スポンサー企業確保の確立を行います。

従来の協賛企業との共存共栄では律しきれない社会になってしまいました。マーケティング本部活動の柱とし、スノースポーツに関連しないところへのアピール活動も展開します。ホームページもスポンサー重視で再構築します。

3.インバウンドの導入元年と位置付けます。

国内マーケットが縮小してしまった今、インバウンド事業を全面的に導入するため、その導入年度と位置づけ、まずは北海道事業からスタートします。

4.この困難克服・SAKの復活へのキーワードは以下です。

- ①「有資格者の研修会出席／毎年」です。
- ②「インバウンド」です。

皆さん！“勇往邁進（ゆうおうまいしん）”

“恐れることなく、自分の目的・目標に向かってひたすら前進すること。”

会員、県民、加盟団体、所属団体の皆様のご活躍とご健康、ご家族様のご多幸も合わせまして心からご祈念申し上げます。

以上